

10月の衛研検査情報

～トピックス～

夏期食品収去検査結果（平成30年度）

夏期食品等一斉点検は、厚生労働省の通知に基づき、全国一斉に実施しています。本市では平成30年6月1日から8月31日までを夏期取締り期間と定め、一斉点検を行いました。

主な結果 194検体の食品添加物検査を行ったところ、すべての検体において、食品衛生法及び食品表示法に適合していました。また、187検体の細菌検査を行ったところ、すべての検体において、規格基準違反及び衛生規範不適合もありませんでした。

農産物の残留農薬検査結果（平成30年7月～8月）

食品中に残留する農薬等が、人の健康に害を及ぼすことのないよう、厚生労働省は農薬等について残留基準を設定しています。当所では、横浜市内に流通する農産物等に残留する農薬の検査を行っています。

平成30年7月及び8月に健康福祉局食品専門監視班、各区福祉保健センターが収去した市内産農産物（4検体）、国内産農産物（5検体）、野菜冷凍食品（6検体）について、残留する農薬の検査を行いました。

主な結果 市内産農産物では、日本なし（2検体）、ぶどう（2検体）で、計5種類7項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。国内産農産物については、農薬が検出されたものはありませんでした。野菜冷凍食品では、オクラ（1検体）で、1種類1項目の農薬が検出されましたが、残留農薬の規格基準値を超えるものはありませんでした。

衛生研究所WEBページ情報

横浜市衛生研究所WEBページでは、感染症情報、保健情報、食品衛生情報、生活環境衛生情報、薬事情報などを提供しています。検査情報月報では、アクセス件数をもとに、どのような情報に関心が寄せられているかを解説しています。



主な結果 平成30年9月は、疥癬（かいせん）ってなあに？（電子パンフレット）、大麻（マリファナ）、水痘（水疱瘡）・带状疱疹、B群レンサ球菌（GBS）感染症、インフルエンザ流行情報（2017/2018）、クロストリジウム・ディフィシル感染症に関するページのアクセスが多く見られました。総件数は140,129件でした。



詳しくは横浜市衛生研究所ホームページを御覧ください

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/inspection-inf/>



横浜市衛生研究所では、所内で行われた試験検査などの結果に解説を加えて、毎月、「検査情報月報」として報告しています。